

2022年度

自己評価・学校関係者評価結果報告書

評価対象期間

自：2021年4月

至：2022年3月

令和4年6月

学校法人村上学園

サンデザイン専門学校

学校関係者評価委員会

1. 2022年度学校関係者評価委員会

矢澤 謙一 科学技術学園高等学校 名古屋分室長

大野 治彦 大野治彦税理士事務所

竹内志保 株式会社るぼぜ 代表取締役

本校評価委員

山田 敏雄 理事長・校長

飯田 邦彦 専門課程主任

2. 学校の教育目標

どんな社会情勢の変化にも対応しうる幅広い一般教養を身につけ、豊かな人間性を持った専門業界で活躍できる人材育成をめざす。

本年度に定めた教育目標

- ・ 個々の学生の能力・個性を把握し、的確な指導を行なうことにより、専門技術の修得を目指す。
- ・ 主体的に課題に取り組み問題を解決する能力を育て、時代のニーズに対応できる人材を育成する。
- ・ コミュニケーション能力を育て、社会を生きるために必要な能力を育てることを目指す。

3. 評価項目の達成を呼び取組状況

1) 教育理念・目標

評価項目	評価			
学校の目標・育成人材層を定めているか	④	3	2	1
学校の職業教育の特色は明確か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	4	③	2	1
各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

【課題】

新型コロナウイルスの流行も収まり流行前の世情に戻りつつあるなか、社会のニーズもまたコロナ前後変わりつつある。そうした状況で学生の意識をどのように変えていくかが今後の課題となる。

【改善方策】

就職状況など、社会・業界の情報を的確とらえ、学生と共有し対応していくことが必要と考
える。

2) 学校運営

評価項目	評価			
目標等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

【課題】

自己評価及び、学校評価の結果から改善と情報を適正に公開していく。

学生・学校間のより速いシステムによる情報共有が必要である。

【改善方策】

ホームページを通じ、学校評価の結果やそれに伴う改善を随時公開していく。

SNSと利用した、出欠席の届・休講等の案内など業務の効率化を図る。

3) 教育活動

評価項目	評価			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

【課題】

学生の就職意欲を向上させるため、より実践的キャリア教育の充実が求められる

【改善方策】

ビジネスマナー、ビジネス実務といったカリキュラムから就職意識を向上させ、資格、検定取得にむけた環境を整え、より実践的な職業教育を目指す。

4) 学修成果

評価項目	評価			
就職率の向上が図られているか	4	3	②	1
資格修得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリアアップ形成への効果を把握し、学校教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

【課題】

就職を希望する者が少なく、現状のアルバイトを継続するものが多い。また、就職希望者に関しても求人があってもマッチングが合わず、就職率の向上が難しい。

【改善方策】

就職意識が低下している原因を把握し、個々の事情にあった就職活動を提案していかなくてはならない。

5) 学生支援

評価項目	評価			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行なわれているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
高等学校・専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行なわれているか	4	③	2	1

【課題】

コロナが収束し授業は正常に戻り、学生の生活も活気づいてきたように感じる。一方経

経済的な困難を持つ学生は引き続き多く、休学・退学の原因となっている。

【改善方策】

学生の健康管理、校内の感染対策など、継続して安全を確保していくことが重要である。経済的支援に対しては、個々の学生に対しヒヤリングを行い、給付奨学金の推薦などの支援を行っていく。

6) 教育環境

評価項目	評価			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
学内外の実習設備、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	②	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

【課題】

施設・設備の経年変化への対応策。

【改善方策】

随時、計画的に対応し円滑な運営を目指す。

7) 生徒の受け入れ募集

評価項目	評価			
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4	③	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【課題】

見学会、学校説明、学校案内の配布など、PR活動のさらなる強化が必要である。

【改善方策】

インターネット介したPR方法など、広報活動を拡充する。

8) 財務

評価項目	評価			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

【課題】

近年では定数を確保しているが、高等課程からの進学者に左右されるため、安定化が難しい。新規入学者は例年数名ながら入学しているが、入学率はなかなか向上しない。

【改善方策】

学校見学等の充実などさらなる広報活動の拡充をはかり、入学者数の安定を図り財政基盤の安定を行いたい。

9) 法令順守

評価項目	評価			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

【課題】

SNSの活用が広がる中、個人情報の運用を厳正に管理する必要がある。

【改善方策】

個人情報の重要性を教員全員が認識し、慎重な運用を遵守すし学校外への持ち出しを一切禁止する。

学生の写真等の掲載には、本人の確認を必ず取る。

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

【課題】

コロナで懸念されていた小中学生向け講座を、今年度も無事開講することができた。SNS

を利用した告知にも効果があり、近年一定の参加者を得ることができている。
名古屋市人とペットの共生サポートセンター等の地域の団体に協力し、ポスター・パンフレット等の制作を行っている。

【改善方策】

今後とも様々な団体とのつながりを大切にし、授業の中にも取り入れ貢献していきたい。